

新輸送情報管理システムをHiRDB Parallel Serverで構築

次世代の物流サービスを切り開く「名鉄運輸」 その情報インフラをHiRDBが支えています。

CASE STUDY

名鉄運輸株式会社

名鉄運輸株式会社

www.meitetsuunyu.co.jp/

設立:1943年6月1日 資本金:20億6,599万円
従業員数:3,216名(2001年3月31日現在)
売上高:761億6,400万円(2000年度実績)
一般貨物・宅配・引越等の輸送業務に加え、貨物保管・在庫管理・物流加工なども含めた総合物流サービスを展開。特に商業輸送の分野に強みを持ち、路線便の認可キロ数は業界1位である。同業他社に先駆けて代金引換サービスを提供するなど、新分野へのチャレンジも積極的に実施している。

高品質輸送の実現に向け、新輸送管理システムの構築に着手

商業貨物輸送のリーディング・カンパニーとして知られる名鉄運輸株式会社(以下、名鉄運輸)信州名鉄運輸、四国名鉄運輸などの関連企業と共に名鉄運輸グループを形成し、一般貨物から宅配便、引越などの分野でも意欲的にビジネスを展開している。名鉄運輸 情報システム部 役員待遇 部長 原田重助氏は「当グループの物流ネットワークは北海道から沖縄まで全国を網羅し多様化するお客さまのニーズにお応えすべく、豊富なサービスメニューもご用意しています」と力強く語る。

物流サービスの三原則「迅速・確実・安全」を実現するための取り組みにも抜かりはない。営業部門と業務部門が一体で顧客への信頼性向上を図り、またセールスドライバーに対しては定期的に輸送教育の徹底をするなど、さまざまな方策を実施。原田氏は「輸送品質の向上が我々の最大の使命。安心して荷物をお任せいただけるよう、細心の注意を払って業務を行っています」と強調する。

また、同社では情報のオープン化の

流れにも迅速に対応。1998年には、従来メインフレームで運用してきた輸送管理システムの再構築に着手した。

原田氏はその背景を「最近SCMやWeb-EDIをはじめとして、物流とシステムの一体化が急速に進んでいます。当社では比較的早くからこの分野に取り組んできましたが、旧システムではセールスドライバーの情報武装、輸送情報の高精度化による高品質輸送の実現、コスト削減による競争力強化とサービス向上といった今後不可欠となる要件が満たせない。そこでオープンシステムによる再構築を考えたのです」と説明する。

システム構築にあたっては日立のビジネスシステム開発センターに、業務分析と業務設計のコンサルティングを依頼。これを踏まえて、次世代のビジネス基盤となる新輸送情報管理システム「MERITSTM」を構築した。



名鉄運輸株式会社
情報システム部 役員待遇 部長
原田重助氏

*1: MEitetsu transport group Reliable Information Total Strategy system

HITACHI
OPEN MIDDLEWARE



その実現力、
日立オープンミドルウェア

株式会社メイテツコム
取締役 ロジスティクス事業部長
三浦義信氏

大規模トランザクションをHiRDB Parallel Serverで確実に処理

インテグレーションを担当した株式会社メイテツコム(以下、メイテツコム)ロジスティクス事業部 課長 永田賢吾氏が「従来は関連会社に設置されたものも含め、3台のメインフレームで業務を行っていました。しかしMERITSではデータの一元活用が課題となったため、サーバによるセンター集中処理への転換を図りました」と説明する。

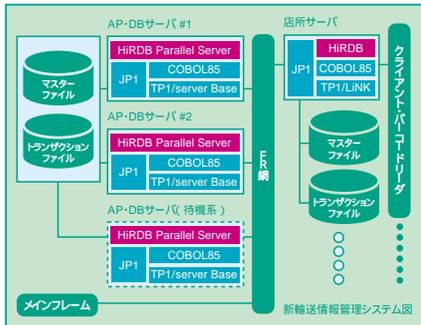
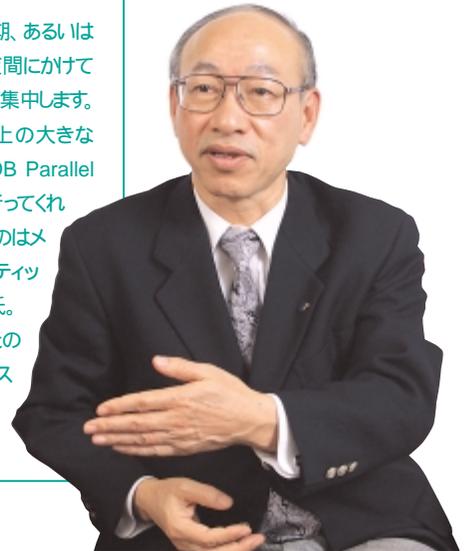
全国に広がる物流ネットワークを支える重要なシステムだけに、MERITSには群を抜く性能・信頼性・可用性が要求される。そこで選ばれたのが

日立のRDBMS「HiRDB Parallel Server」だ。

HiRDB Parallel Serverなら、大量データを高速に分散処理することが可能。しかもユーザー側で分散処理を意識する必要はない。MERITSでも基幹の物流データを十数個のファイルに分散させているが、ユーザーアプリケーションからは1つのファイルと同じように扱える。また本番機とは別に待機ノード用のサーバも用意。3台構成とすることで、可用性の向上も実現している。

「お中元やお歳暮の時期、あるいは集荷が終わった夕方から夜間にかけては大量のトランザクションが集中します。合計で200ギガバイト以上の大きなデータベースですが、HiRDB Parallel Serverは問題なく処理を行ってくれています」と満足げに語るのはメイテツコム 取締役 ロジスティクス事業部長 三浦義信氏。

「短期間での構築だったので、日立のサポートサービスにも大いに助けられましたね」と続ける。



株式会社メイテツコム
www.meitetsucom.co.jp/

設立: 1976年9月27日 資本金: 4億円
従業員数: 400名 売上高: 70億円 「名鉄コンピュータサービス」として1976年に設立。名鉄グループの情報システム会社として、多くのグループ企業のシステム構築・運用を担当。また長年培ったノウハウを活かし、パッケージシステムや流通業務向けシステムの開発・販売なども手がけている。



株式会社メイテツコム
ロジスティクス事業部 課長
永田賢吾氏

MERITSを軸に据え、新たな物流サービスを展開

MERITS構築と併せ、全国の拠点にもWindows NT[®]サーバとHiRDBを導入。自由に運賃シミュレーションなどの作業を行える環境を実現した。このことは拠点での営業業務を支援する上で大きな武器となる。

さらにセールスドライバーが携帯するハンディターミナルとの連携を行うことで、集荷・配達情報のリアルタイムでの把握や誤配送への迅速な対応なども実現する予定だ。

「電子帳票によるペーパーレス化

やバーコードを用いた伝票レス輸送、お客さまへのEDIサービスの提供など、MERITSは今後の新しい業務を支える重要な基盤となります。将来的にはHiRDB Parallel Serverに蓄積された情報を分析することで、営業支援などにも役立てていきたいですね」と抱負を語る原田氏。

高度な情報管理に基づく次世代の物流サービス。名鉄運輸はその実現のために、HiRDB Parallel Serverを利用して大きな一歩を踏み出したのだ。

Windows NTは、米国Microsoft Corp.の米国およびその他の国における登録商標です。その他記載の会社名・商品名は、各社の商標または登録商標です。

大規模トランザクションにも高度な技術と信頼のサポート力で応えます。

HiRDB Parallel Serverは世界に先駆けシェアード・ナッシング^{*2}方式を採用
スケラビリティにすぐれ、処理のピーク時にも余裕で対応
メインフレームの信頼性をオープン環境で実現
DB再編成、DBバックアップ、DB回復も並列で高速処理

並列更新、並列ローディングにより大量データのバッチ処理時間を大幅短縮
自社開発ならではの重要障害の24時間・365日対応
ミッションクリティカルシステム対応サポートサービス

*2: 複数のプロセッサに対し個別のディスクとメモリーを割り当てる方式。個々のプロセッサが独立して動作できることが特長。

ネットビジネスを成功に導く先進のリレーショナルデータベース



www.hitachi.co.jp/soft/

■製品に関するご質問、ご相談は日立オープンポータルウェア問い合わせセンターへ
利用時間 9:00~12:00・13:00~17:00 (土、日、祝日を除く)
☎0120-55-0504